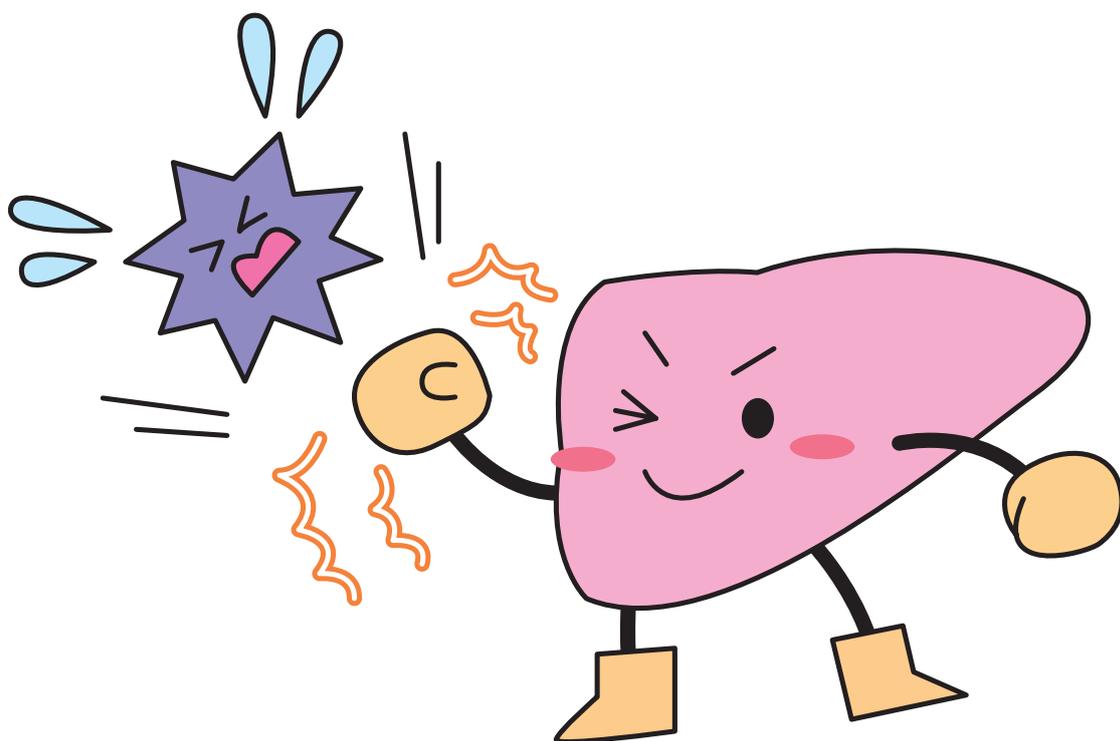


# ウイルス性肝炎

肝炎治療で肝がんを予防しましょう



# ■ ■ ■ ■ 目 次 ■ ■ ■ ■

1. 肝臓の病気
2. 肝炎ウイルスとは
3. ウイルス性肝炎とは
4. 急性肝炎
5. 慢性肝炎
6. 肝硬変
7. A型肝炎
8. B型肝炎
9. C型肝炎
10. B型肝炎の治療
11. C型肝炎の治療
12. 予防方法
13. 肝炎の医療費助成制度
14. おわりに

# 1 肝臓の病気

肝臓の病気というと、アルコールの飲みすぎが原因と思われがちですが、日本で最も多いのは肝炎ウイルスの感染によって起こるウイルス性肝炎です。

## 原因による分類

- ・ ウイルス性
  - A型肝炎
  - B型肝炎
  - C型肝炎
  - その他
- ・ 自己免疫性
- ・ 代謝障害
- ・ 薬剤
- ・ その他

## 病態による分類

- ・ 急性肝炎
- ・ 慢性肝炎
- ・ 肝硬変
- ・ 肝がん
- ・ 脂肪肝
- ・ 肝線維症

# 2 肝炎ウイルスとは

肝炎を起こす肝炎ウイルスには、A、B、C、D、E型があります。日本に多いのはA、B、C型です。D型は、日本ではほとんどみられません。E型の多くは発展途上国からの輸入感染ですが、日本でも豚や鹿、猪の生肉からの感染が報告されています。

	A型	B型	C型	D型	E型
感染経路	経口	血液	血液	血液	経口
潜伏期	2～6週間	1～6か月	2～16週間	1～6か月	2～9週間
慢性化	なし	あり	あり	あり	なし
ワクチン	あり	あり	なし	なし	なし

### 3 ウイルス性肝炎とは

肝炎ウイルスに感染すると、そのウイルスは肝細胞の中で増殖します。ウイルスを排除しようとしてリンパ球がウイルスを攻撃しますが、肝細胞も一緒に破壊されます。これが「肝炎」の状態です。

肝炎の起こり方によって、「急性肝炎」と「慢性肝炎」に大きく分けられます。

### 4 急性肝炎

ウイルスの感染などが原因で肝臓に急激な炎症が起きるのが急性肝炎です。日本ではA型肝炎ウイルスによるものが多く、次いでB型、C型の順です。急性肝炎の前駆症状は、発熱、咽頭痛といった感冒様症状で、その後肝障害が生じ黄疸が出る数日前に尿の色が濃くなり、そのころより食欲不振、全身倦怠感、悪心、嘔吐といった症状が出ます。血液検査では、GOT、GPTが著しく高値になりますが、ふつうは一過性で1～2か月以内に正常に戻ります。まれに劇症化する危険性があるため、入院が必要です。安静と栄養補給が治療の基本です。

肝炎ウイルスでなくても、ほとんどのウイルスは感染すると肝炎を起こす可能性があります。また、多くの人が子どもの時に感染する、EBウイルス、サイトメガロウイルス、単純ヘルペスウイルスに大人になって感染すると、急性肝炎になる場合があることがよく知られています。

## 5 慢性肝炎

肝臓の炎症が6か月以上続くものを慢性肝炎といいます。原因の90%は、B型肝炎ウイルス、またはC型肝炎ウイルスです。

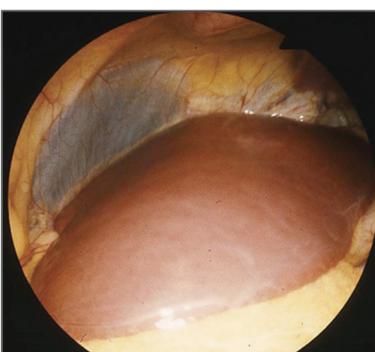
肝臓の炎症が強くならなければ自覚症状が出ないので、気付かないことが多く、検診や他の病気で血液検査をして見つかることも珍しくありません。

## 6 肝硬変

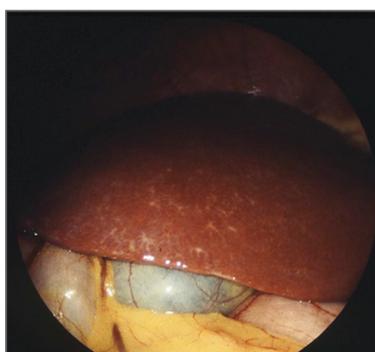
慢性肝炎が進行し、肝細胞の破壊と再生が繰り返されると、壊れた細胞の後を埋めるように硬い線維が増え、そして徐々に肝臓が硬くなり、十分に機能しなくなります。この状態が肝硬変で、原因の60%がC型肝炎、15%がB型肝炎、15%がアルコールです。

一部の細胞に障害があっても、残りの細胞がそれをカバーしている時期（代償性肝硬変）には症状はあまり現れません。やがて機能的に限界を超え、カバーしきれなくなる非代償性肝硬変になると、黄疸、出血傾向、腹水、むくみ、脳症といった症状が出ます。また、肝硬変になると、肝がんが発生しやすくなるのも問題です。

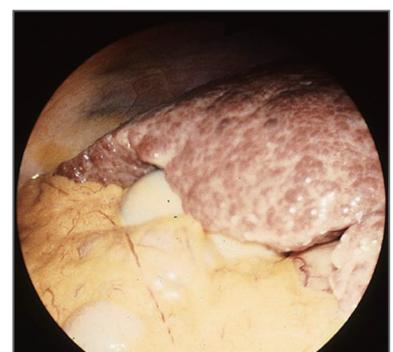
急性肝炎



慢性肝炎



肝硬変



## 7 A型肝炎

A型肝炎ウイルスに汚染された水や食べ物を介して感染します(経口感染)。感染すると2～6週間の潜伏期を経て肝炎を発症します。一度感染すると抗体ができ、それ以後新たに感染することはありません。まれに急性肝炎から劇症肝炎を起こしたり、急性腎不全を合併することがありますが、慢性肝炎には移行しません。日本でも上下水道の設備が整っていない時代に多く発生していたので、高齢者には抗体を持っている人も多くいます。

## 8 B型肝炎

B型肝炎は、血液や体液を介して感染します。成人になって感染しても、大半は一過性の感染で治癒しますが、乳幼児期に感染すると90%以上がキャリア(持続感染者)となります。現在日本にはB型肝炎ウイルスキャリアが110～140万人いると推定され、その多くが出産時にキャリアの母親から感染する母子感染(垂直感染)によるものです。1986年以降は母子感染防止策が取られ、キャリアの母親が出産すると、赤ちゃんにすぐにグロブリンの注射とワクチンを接種するので、新たな母子感染はほとんどなくなっています。

キャリアの85%はHBe抗原(ウイルス抗原の一つ)が消えてHBe抗体陽性となり(これをセロコンバージョンと言います)、ウイルス量が減って、肝機能が正常の無症候性キャリアとなります。しかし残りはウイルスが減らずに慢性肝炎となり、年2%の割合で肝硬変になり、肝硬変になると肝がんができやすくなります。



## 10 B型肝炎の治療

B型肝炎になっても、必ずすぐに治療が必要というわけではありません。自然にセロコンバージョンが起こって肝炎が鎮静化することもあるため、経過を観察することもあります。治療を行うかどうかは、年齢やウイルス量、肝機能、肝臓の線維化や炎症の程度によって判断されます。セロコンバージョンが起きず、肝炎が進行する可能性が高ければ、肝硬変や肝がんになるのを防ぐため、抗ウイルス療法が必要です。その時に使う薬は、インターフェロン注射と飲み薬の核酸アナログ製剤で、ウイルスの増殖を持続的に抑えて炎症を鎮静化させます。

無症候性キャリアでも、抗がん剤や免疫抑制剤などが投与されるとウイルスが再び増殖を始め、肝炎が再発することがあります。またB型肝炎ウイルスの遺伝子が体内の遺伝子に組み込まれていますので、肝炎が落ち着いていても、肝がんが発生する可能性があります。肝機能が正常であっても、定期的な検査が必要です。キャリアと判ったら、一度は肝臓専門医の診察を受けるようにしてください。

### B型肝炎の治療

#### 1 抗ウイルス療法

ウイルスの増殖を抑える

- ①インターフェロン（注射）
- ②核酸アナログ製剤（内服）

#### 2 肝庇護療法

肝臓の炎症を抑える

- ①グリチルリチン製剤（注射と内服）
- ②ウルソデオキシコール酸（内服）

## 11 C型肝炎の治療

肝がんの約7割、肝硬変の約6割はC型肝炎が原因ですので、肝がんや肝硬変で亡くなる人を減らすためにはC型肝炎の治療が重要となります。肝がんは慢性肝炎の時からも発生しますが、肝硬変になると年8%の割合で肝がんができます。また高齢になるほど肝がんは増えます。

B型肝炎ウイルスを体から完全に排除する治療はありませんが、C型肝炎ウイルスは治療によって排除することが可能ですので、できるだけ早く治療を開始する必要があります。排除できれば肝炎の治癒が望めます。薬の副作用などで排除することが困難であれば、肝庇護剤で肝炎の進行を抑えて肝がんを防ぐ治療をします。

1992年からC型肝炎のインターフェロン治療が開始されましたが、ウイルスの型や量によって治療の成績に大きな差がありました。しかし新しい薬の開発によって、難治性の患者さんでも、90%ぐらいまで治るようになりました。さらに2014年秋からはインターフェロンなしで、2種類の薬を飲むだけの治療も開始され、90%以上治癒するようになりました。治療の詳細は肝臓専門医にお尋ねください。

### C型肝炎の治療

#### 1 抗ウイルス療法

- ①インターフェロン注射
- ②インターフェロン注射 + 内服薬
- ③内服薬 (インターフェロンなし)

#### 2 肝庇護療法

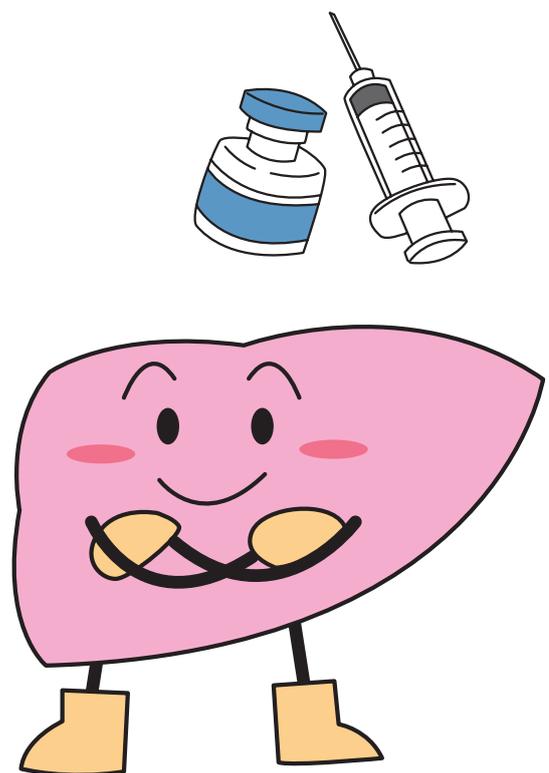
- ①グリチルリチン製剤
- ②ウルソデオキシコール酸

## 12 予防方法

AとE型は経口感染ですので、東南アジアなど感染の多い地域に行くときは、生ものは食べず、生水は飲まないようにすることが重要です。A型は感染予防のワクチンがありますので、渡航前にワクチン接種が推奨されます。E型のワクチンはありません。

BとC型は主に血液を介して感染します。現在は輸血で感染することはほとんどありません。成人が感染するのは、医療従事者の針刺し事故、性交渉、刺青、ピアスの穴開けや、覚せい剤濫用によるものです。ウイルスに感染している人は、他の人に感染させないため、血液を他人に触れさせない、歯ブラシ、カミソリ、ピアスなど血液が付く可能性のあるものは他人と共用しないことが大切です。

B型には予防するワクチンがあるので、医療従事者や、キャリアのパートナーにはワクチン接種が望まれます。

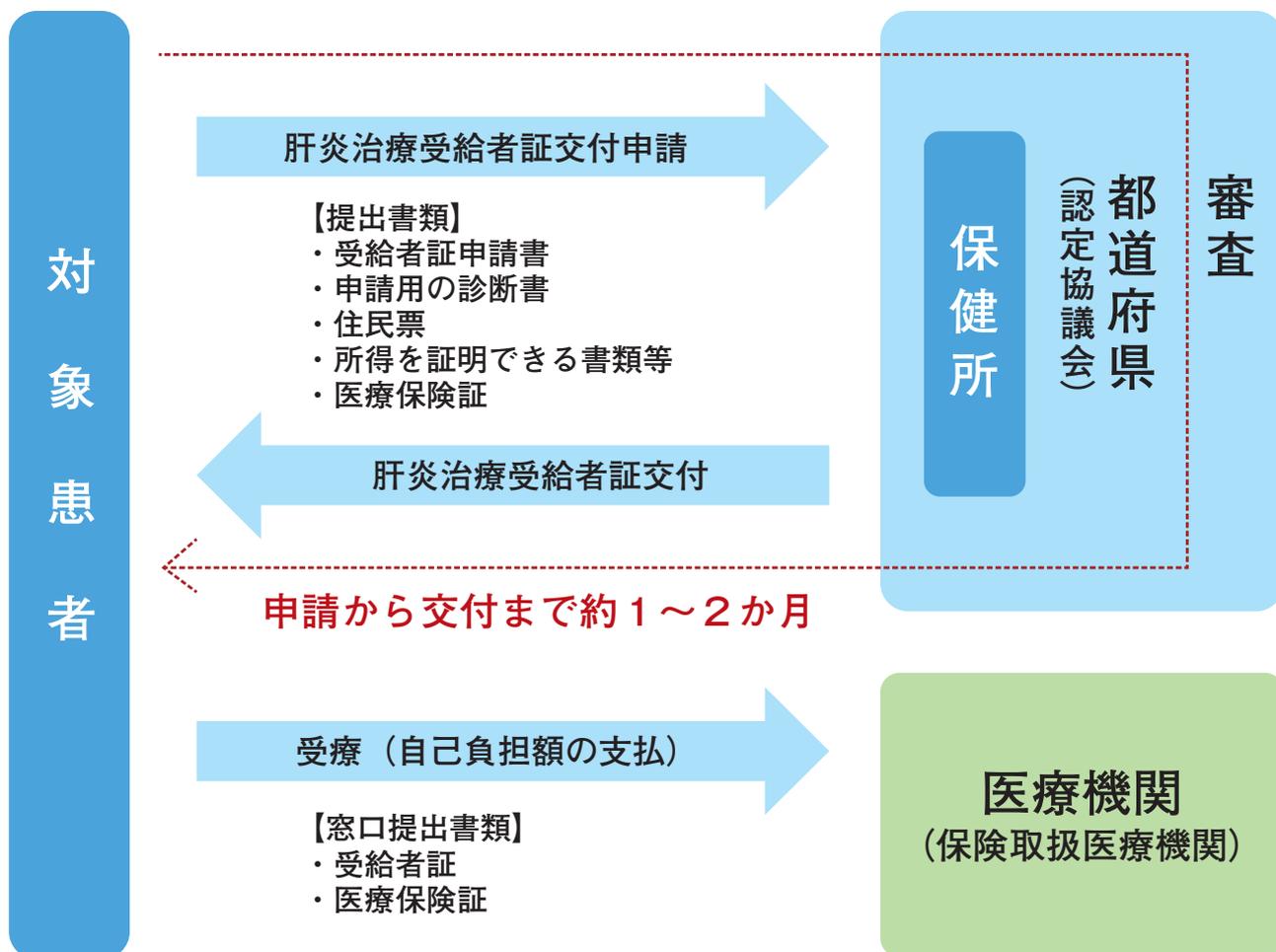


## 13 肝炎の医療費助成制度

ウイルス性肝炎の治療では、治療費が高額になっても医療費の助成を受けることができます。収入により自己負担額が月額1万円、または2万円までに軽減されます。対象となる治療は、B型肝炎では、インターフェロン治療または核酸アナログ製剤治療、C型肝炎では、インターフェロン治療またはインターフェロンを用いない経口ウイルス薬治療です。肝庇護薬は対象となりません。

詳しくはお近くの保健所等にお問い合わせください。

### 肝炎治療費助成申請の流れ



## 14 おわりに

自分が肝炎ウイルスキャリアと知らないままの人が、2011年の時点で77.8万人いると推定されています。今まで肝炎ウイルス検査を受けたことのない人は、一度は検査を受けるようにしましょう。

検査は健康福祉センター（保健所）、または県が委託した医療機関で無料で受けられます。

また、検査で陽性の通知を受け取った時は、精密検査実施医療機関名簿（山口県肝疾患専門医療機関と検索）を参考にして、保険証を持参の上、早めに受診するようにしてください。

以前インターフェロン治療を受けたが治癒しなかった方も最近の治療を受けることで治癒する可能性もありますので、専門医にご相談ください。

※山口県肝疾患専門医療機関（肝炎ウイルス等精密検査医療機関）

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15200/kansensyou/kanensenmonkensa.html>

毎月7日は県民健康の日